

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童発達支援えんじょ～い glow up!		
○保護者評価実施期間	2025年9月16日 ~ 2025年10月6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	2025年9月16日 ~ 2025年9月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なスキルを持ったスタッフによる療育	スキルを活かせる環境づくり。 スタッフの意見の取り入れ。 実行してみて改善点を共有。	研修や資格支援の充実
2	右脳教育に特化した教材の使用。	繰り返し行うことで身に付くものを毎日行っている。	定期的な振り返りを行い、スタッフの技術向上を図る。
3	外部講師による特別活動	事前に児童の様子を伝えるなど、円滑なプログラムの運営。	児童の技術向上によるアプローチ方法の検討

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外遊びのできる環境が近くに少ない。	室内での療育が多くなってしまう。	スペースの活用を工夫する。 活動により利用区画を整理する。 送迎車を利用し、外遊びができるところまで移動する。
2			
3			

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援えんじょ～い glow up!			
○保護者評価実施期間	2025年9月16日 ~ 2025年10月6日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)		3	(回答者数)	3
○従業者評価実施期間	2025年9月16日 ~ 2025年9月26日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)		4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なスキルを持ったスタッフによる療育	スキルを活かせる環境づくり。 スタッフの意見の取り入れ。 実行してみて改善点を共有。	研修や資格支援の充実
2	右脳教育に特化した教材の使用。	繰り返し行うことで身に付くものを毎日行っている。	定期的な振り返りを行い、スタッフの技術向上を図る。
3	外部講師による特別活動	事前に児童の様子を伝えるなど、円滑なプログラムの運営。	児童の技術向上によるアプローチ方法の検討

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外遊びのできる環境が近くに少ない。	室内での療育が多くなってしまう。	スペースの活用を工夫する。 活動により利用区画を整理する。 送迎車を利用し、外遊びができるところまで移動する。
2			
3			

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

公表

事業所名		児童発達支援えんじょ～い glow up!				
		公表日 2025年11月5日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
職員、体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			限られたスペースの中で、活動に合わせて区分ができるなどの工夫をしています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			人員配置基準以上の職員数を確保しています。	職の良い育児を行うために、人が足りないと感じた場面もある。活動内容は変更せず、活動の進め方を工夫しています。
	3 生活空間は、これまでにかぎらず構造化された環境になっているのか。また、事業所の設備等は、消費者特性に応じ、バリアフリー化や障害伝達等、障壁上の配慮が適切になされているか。	○				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	○				
業務改善	5 業務改善を始めたためPOCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか。	○			ミーティングや会議を定期的に行い、情報共有しています。	
	6 保護者向け評議会により、保護者の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ミーティングや会議を定期的に行い、情報共有しています。	
	7 職員の意見を取り扱う機会を設ける機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ミーティングや会議を定期的に行い、職員の意見を取り入れています。	
	8 職員の貴賤の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内研修を実施する機会が確保されているか。	○			定期的にパラエディーに轟んだ研修を行っています。	今後も参加できる環境を整えるとともに、参加できなかった職員にも情報共有をしていきます。
適切な支援の提供	9 適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	○				
	10 各々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を個別的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○				
	11 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援専門責任者だけでなく、こどもの支援に関する職員が共通理解の下で、こどもの権利を尊重した状態で行われているか。	○			支援計画作成時に支援会議を行い、保護者のニーズを考慮した上で、職員の意見を取り入れたり、情報の共有をしている。	
	12 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
周辺環境や保護者との連携	13 こどもの適切行動の状況を、標準化されたルールを利用したフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを利用するにより確認しているか。	○				
	14 児童発達支援計画には、児童発達支援カウンセリングの「児童発達支援の提供すべき支援」の「個人支援」、「施設支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のから、及び個別の内容を踏まえながら、こどもの状況に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な実施内容が設定されているか。	○				
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			ニーズや課題に合わせたプログラムが考えられています。	
	16 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援を行っているか。	○				
医療機関や保護者との連携	17 支援開始前に市町村健康課に必ず打ち合わせを行い、その日の担当する支援の内容や取扱方法について確認し、チームで連携して支援を行っていくか。	○			毎朝のミーティングで確認しています。	
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	19 定期的にミーティングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
	20 保育見習説明事業所のサービス内容や会議の開催場所との会議室に、そのこどもの状況をよく理解した者が登録しているか。	○				
医療機関や保護者との連携	21 地域の病院、医療（生産医療・協力医療機関）、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	○			保育園や幼稚園など、事業所以外での適切な情報などを情報共有でできるような環境づくりに取り組みます。	
	22 併行利用や併行に向いた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から取り組んでいます。また、その他の、保育園や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	23 就学時や移行時には、小学校や特別支援学校（小学校）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			まだ対象児童はないが、今後行なっていきたい。	
	24 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスルーパイプや助産等を受け機会等を設けているか。	○			定期的に訪問をさせていただいている。	
保護者への対応	25 保育所で認定こども園、幼稚園等との交流、地域中で他のこどもと活動する機会があるか。	○				
	26 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共理解を持てているか。	○				
	27 連絡規程、支援プログラム、利用料負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	28 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最終の判断の尊重の観点を踏まえて、こどもや家庭の願望を確認する機会を設けているか。	○				
保護者への対応	29 「児童発達支援計画」を示すなら支障内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	30 定期的に、家族等からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、園庭やおもちゃ販売と支援を行っているか。	○				
	31 こどもや保護者からの相談に問い合わせし、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	32 定期的に連絡や発信するなどして、HP・SNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				
医療機関等の対応	33 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	○				
	34 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしているか。	○				
	35 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	○				
	36 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、消防マニュアル、感生症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発火を想定した訓練を実施しているか。	○				
医療機関等の対応	37 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に演習、抽出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	38 事前に、施設や予防接種、てんかん发作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	39 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指導書に基づく対応がされているか。	○				
	40 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な形で実施が行われているか。	○				
医療機関等の対応	41 こどもの安否連絡に関して、家族との連絡が図られるよう、安全計画に基づく教訓内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	42 ピヤリット等を事業所内外に共有し、再発防止に向けた訓練を行っているか。	○				
	43 待合を設けているため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
	44 どのような場合にはわざわざ身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に前に十分に説明して了解を得上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)						
事業所名	児童発達支援えんじょ~い glow up!	公表日	2025年11月5日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
福 祉 ・ 体 制 整 理	1 利用者数が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>				
	2 利用者数や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3 生活空間: ここにいかかわらずしく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等、障害者の立場に応じた、バリエーションや個別化等、環境を整備・確実に実現が図られているか。	<input type="radio"/>				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく満足せる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>				
事 務 改 善	5 業務負担を減らすためのOCA・サクワ（目標設定となり取り組み）に、常に従事しているか。	<input type="radio"/>				
	6 保護者向け評議表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	7 職員は施設等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	8 職員は、児童の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を実施する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>				
通 じ な 支 援 の 提 供	9 適切な支援プログラムを作り、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	10 簡単なことに対してアシスタンスを実行し、こどもと保護者のニーズ・課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	11 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの立場に応じた職員がが通路線の下で、こどもの最適の支援を考慮して接続を行っているか。	<input type="radio"/>				
	12 放課後等デイサービス計画は職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
通 じ な 支 援 の 提 供	13 この日の担当の教員の名前、担当のカウンターを用いたフォーマルな会話システムや、日々の行動規範など会員インターフェースアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	14 放課後等デイサービス計画には、「放課後等デイサービスの提供者等による「日本一支援」」、「放課後等デイサービスの運営者等による「安心・安全の運営」及び「運営の品質向上」が、こどもの立場に応じて適切に記載されているか。	<input type="radio"/>				
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>				
	16 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜見合せて放課後等デイサービスを組み成し、支援を行っているか。	<input type="radio"/>				
開 拓 機 関 や 保 育 者 と の 連 携	17 放課後等デイサービス計画には、運営組織間での手合せを行い、その日行われる授業の内容について確認し、チームで協調して支援を行っているか。	<input type="radio"/>				
	18 日々の運営に際して記錄をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	19 実施時にミーティングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要な件を判断し、遅刻は見直しや行動しているか。	<input type="radio"/>				
	20 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>				
保 育 者 へ の 説 明	21 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てたための支援を行っているか。	<input type="radio"/>				
	22 同僚児童発達支援事業所のサービスと当該会員や関係機関との会議にて、その立場の状況によく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	23 教育の基礎、医療、生活(学力や能力の発達段階)、障害福祉、保健、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>				
	24 学校との連絡(年次開催・行事予定等の交換、この日の下校時間の確認等)、連絡会議(試験時の対応、トラブル発生時の連絡)を適時に行っているか。	<input type="radio"/>				
保 育 者 へ の 説 明	25 教育院に利用している保育所の幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との問い合わせ共通と組合せで連携しているか。	<input type="radio"/>				
	26 学校に卒業し、放課後等デイサービスの小中高連携等サービス実施所で受け取る場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>				
	27 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要応じてスパーカー(ハイタッチ)や音楽等を提供する場合会員でいるか。	<input type="radio"/>				
	28 日常からこの日の学校や保育園と連携しない、こどもの両親の状況や問題について迅速に対応しているか。	<input type="radio"/>				
保 育 者 へ の 説 明	29 連携課程、支援プログラム、利用料金等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>				
	30 放課後等デイサービスに利用を希望する場合には、こどもの保護者の意向、こどもの発達の特徴や両親の問題を踏まえて、こどもや他の児童を用意する場合を含めての連携を図っているか。	<input type="radio"/>				
	31 「放課後等デイサービス計画」を示しながら運営の説明を行い、保護者から放課後等デイサービスの内容を理解しているか。	<input type="radio"/>				
	32 放課後等デイサービスの運営に対する相談に適切に応じ、面談や必要な会員と対話を実行しているか。	<input type="radio"/>				
被 害 者 の 対 応	33 こどもや保護者の立場について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知して問題があつた場合は迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>				
	34 支援内容に周知を実行することや、HPやSNS等を活用することにより、各種要望や手帳、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して周知しているか。	<input type="radio"/>				
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>				
	36 対象のあらゆる保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>				
被 害 者 の 対 応	37 事業所の手元に地域住民を認定する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	<input type="radio"/>				
	38 事防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアル等を制定し、職員等に周知するとともに、生徒に理解して行動を実施しているか。	<input type="radio"/>				
	39 事務手続き書類(BCP)を策定することにより、非常災害時に備え、実用的に行なう。救出その他の必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>				
	40 事前に、施設や予防接種、なんかの発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>				
被 害 者 の 対 応	41 食物アレルギーのある子どもについて、医療の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>				
	42 安全面を考慮し、安全管理等の訓練や訓練、その他の必要な訓練を実施する。安全管理制度が十分化された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	43 どのような安全確保に関して、施設等との連携が取られるよう、安全管理等の指針等について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>				
	44 ヒヤリハットを事務所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>				
被 害 者 の 対 応	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>				
	46 どのような場合にいかで得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>				